

# 平成14年度ホタテガイ採苗情報(第7報)

平成14年5月23日  
発行:岩手県水産技術センター  
協力機関:沿岸地方振興局水産部

「県内中南部では、付着が続いています。」

## 1 ラーバの出現状況

5月22日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長200 $\mu$ m未満が26個/トン、200 $\mu$ m以上が17個/トンと、前回調査時(合計51個/トン)より減少しました。

なお、調査時の水深10m層の水温は11.3 $^{\circ}$ Cで、前回調査時に比べ1.2 $^{\circ}$ C上昇しています。

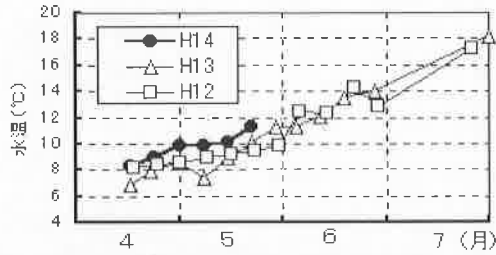


図 唐丹湾における水深10m層水温

## 2 試験採苗器への付着状況

5月14日以降の調査では、全調査地点で付着稚貝が確認されています。

付着数は、5~1,995個/袋で、前回調査時と比べて横這いないしは減少しています。

宮古地区で40個/袋以下と少ないものの、その他の地点では150個/袋以上とまとまった付着が確認されています。

なお、唐丹湾では、その2割程度が付着直後の個体でした。

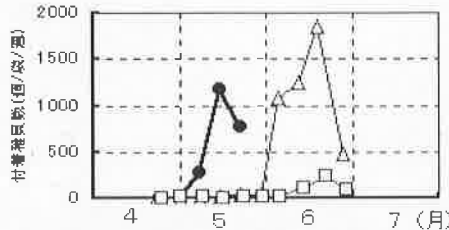
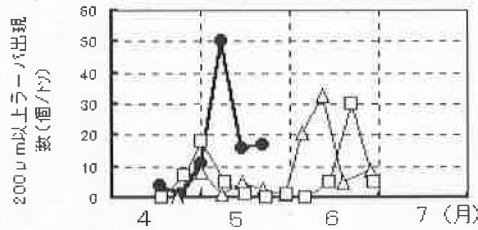


図 ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部以南では、ラーバの総数は減少したものの、依然として付着間近の大型の個体が確認され、多数の付着稚貝も確認されています。

しかも、付着直後の稚貝も相当数確認されていることから、稚貝の付着はまだ続いているものと考えられます。

次報は、5月31日頃発行する予定です。



○: 生体調査  
●: 付着稚貝調査 (調査地点 付着稚貝調査期間 付着稚貝数)

図 調査地点および付着稚貝調査結果